

# 矢立廃寺跡 第3次発掘調査始まる

県の指定史跡である「矢立廃寺」の第三次発掘調査で、寺の総門跡の全容がほぼ明らかになりました。先月二十七日から行われていた調査は、昭和四十八年に一部発見された寺の入口にあたる総門の全容を確認するために行われたものです。発掘地からはおよそ十五本の柱の掘立柱跡や礎石の下の根石

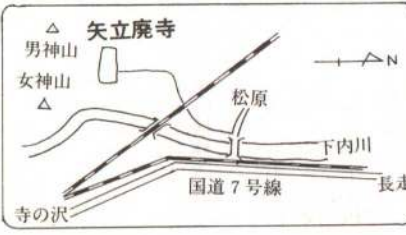
雨落ち溝などが発見され、総門の規模は横約九メートル、奥行き約五・五メートルであることがわかり、当時はかなり大きな屋根付きの門であったと推測されています。矢立廃寺は、昭和三十四年県の史跡に指定。三十九年に県教育委員会と当時の花矢町で、その後四十八年に市史編さん事業の一環と

して発掘調査が行われました。その結果、東西の中軸線上に沿って禅宗伽藍（寺院）跡と推定される三棟の建物跡（仏殿、法堂、方丈）や総門、三門などの一部が発見されました。

第三次発掘調査は、前回調査した建物跡や総門跡などをさらに詳しく調べるため、国と県からの補助を得て今年度から三カ年事業で行っているものです。矢立廃寺については、江戸時代



▲矢立廃寺の総門跡



## ▲桂城小が最優秀校

8月26日、秋田市で全県小学校水泳大会が行われ、本間純子さん(6年)が、女子50メートル・100メートルバタフライで1位に、また女子200メートルメドレーリレーでも優勝するなど、みごとな活躍で2回目の最優秀校となりました。

## ▶花岡小が全県学童相撲大会で優勝

8月19日、秋田市で行われた全県学童相撲大会で花岡小がみごと2連覇を達成しました。また、23日行われた東北大会でも阿部記久君が個人戦2位となりました。全県優勝メンバーはつぎのとおりです。

阿部記久君(6年) 成田誠玄君(5年) 阿部政寿君(6年) 白川千代樹君(6年) 松木義彦君(6年)

今年も九月二日の矢立地区を皮切りに、各地区ごとに敬老会が開かれています。今年の敬老会対象者(七十歳以上の方)は昨年を二百十五人上回る五千三百十八人。最高齢者は佐々木キヨさん(明治18年3月27日生・長木川南)で、県内でも十一番目の長寿者となります。次いで、柏田の佐藤サヨさん(明治18年12月3日生)です。

世界保健機関(WHO)が発表した今年の統計報告によれば、日本はスイスをしのいで世界一の長寿国になったとされています。また、総理府の調べでは、お年寄りの約六割の方が地域社会のためにまだまだやれると答えています。長寿国日本を誇りに、お年寄りの

## 9月15日は敬老の日 伝えてください「知恵と経験」

方には蓄積された「知恵と経験」をぜひとも若い世代に伝えていただきたいものです。



▶上川沿地区敬老会

## ご利用ください 各種相談室

- 交通事故・9月18・25日
- 法律・9月18日
- 社会保険・毎週水曜日
- 家庭教育・毎週月曜日
- 国 税・9月25日
- 緑の相談・10月4日
- ところ・市役所会議室

## 市民文化会館の自主興業 9月17日から入場券を発売

ロマチック・ミュージカル 『日曜日は、ダメよ!』  
入場料・S席三千円、A席二千五百円、B席二千円  
演出は浅利慶太。劇団四季最高のスタッフで贈りする「日曜はダメよ!」。ギリシャ独特の楽器ブズーキの奏でる美しいメロディとダイナミックな踊り、そしてホロ苦いラブロマンス。

室内楽の至宝、チエコの誇り 『スエタナ弦楽四重奏団』  
とき・10月31日(水)18時30分  
入場料・S席三千円、A席二千五百円、B席二千円  
チエコの世界的弦楽四重奏団。四人の奏者が常に暗譜で演奏し、しつくりと一つに凝縮するみごとなアンサンブルは、弦楽四重奏の極致とさえいわれている。(講談社刊、大事典deskより)

毎日芸術賞、朝日文化賞  
ゴールテンアロー賞受賞  
『セールのスマンの死』  
とき・11月10日(土)18時30分  
入場料・S席二千五百円、A席二千円、B席千五百円、C席千円  
原作・アーサー・ミラー  
出演・滝沢修、奈良岡朋子



とき・10月25日(木) 午後6時30分